

令和2年6月16日

京都市交響楽団における 新型コロナウイルス感染拡大予防に係る安全対策ガイドライン

京都市交響楽団では、ご来場されるお客様に安心して音楽を楽しんでいただくため、「新型コロナウイルス感染拡大予防に係る安全対策ガイドライン」を定めました。

本ガイドラインは、策定時点における政府・京都府・京都市の方針及び業界別ガイドライン（「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（5月25日改訂版）」、「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（6月11日策定）」）を踏まえ、当面の間の取組として定めるもので、随時、感染症の動向や専門家の知見を踏まえ、必要に応じて適宜改定を行うこととします。

【ご来場いただくお客様へのお願い】

- ① 新型コロナウイルス感染症を示唆する次の兆候がある方はご来場をお控えください。（来場されないお客様には、チケットの払い戻しを行わせていただきます。）
 - ・37.5度以上の発熱がある方、または発熱が続いている方
 - ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・臭覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
 - ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方
 - ・その他、体調に不安がある方

*基礎疾患をお持ちの方、妊婦の方は、医師の判断や、関係機関の情報をご確認の上、慎重なご判断をお願いいたします。
- ② 「マスク着用」にてご入場をお願いいたします。
- ③ 感染者が発生した場合、チケットご購入者様の個人情報を、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供させていただきます。
- ④ 検温、社会的距離の確保、手指消毒等、新型コロナウイルス感染症のための取組につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

【会場での感染防止】

- ① 会場受付付近において、非接触型検温器等により体温を測定する場合がありますので、ご協力をお願いいたします。（測定の結果によっては、ご入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。）

② 「社会的距離」を保っていただけますようご協力をお願いいたします。

入・退場時、休憩時（お手洗いで行列）に密集しないよう、社会的距離として最低1メートルは確保していただきますようご協力をお願いいたします。

必要に応じて、入退場等の方法を指定させていただくことがございますので、ご協力をお願いいたします。

③ 客席の間隔は最小1m（京都府ガイドラインによる）を空けております。

④ 「こまめな手洗い・手指消毒」と「咳エチケット」にご協力をお願いいたします。

アルコール消毒液等を会場各所に設置しておりますので、「こまめな手洗い・手指消毒」にご協力をお願いいたします。

咳エチケットを守るとともに、手でご自身の顔・目・鼻・口などを触る行為に気を付けてください。

⑤ 公演会場における感染拡大防止に努めております。

文化会館・コンサートホールにおいては、外気を取り込んだ十分な換気を行うとともに、あらかじめ開場前にアルコール消毒液等を使用した館内清掃、消毒を行っております。

⑥ スタッフとお客様との感染拡大防止に努めておりますので、ご協力をお願いいたします。

お客様と接するスタッフは全員、マスクを着用してご案内と対応をさせていただきます。スタッフからお客様にはなるべくお声掛けを控えるようにしております。

チケットはスタッフが目視で確認いたしますので、お客様ご自身で半券を切り取ってご入場ください。

プログラムの手渡しは行いませんので、所定の場所からご自身でお持ちください。

⑦ 出演者とお客様との感染拡大防止に努めておりますので、ご協力をお願いいたします。

レセプション、楽団員のお見送りを実施いたしませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

楽屋口等での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。

出演者へのプレゼントはお預かりすることができませんので予めご了承ください。

⑧ お客様同士の感染拡大防止に努めておりますので、ご協力をお願いいたします。

ホワイエ等でのご歓談、お客様同士の近距離での会話はお控えくださいますようお願いいたします。

京都コンサートホールでのドリンクコーナーの営業を行いませんので、薬の服用や水分補給のために必要な飲料水等はご自身で持参ください。

「ブラボー」などの掛け声は禁止とさせていただきます。

⑨ 全ての出演者・スタッフは、検温を実施し、【ご来場いただくお客様へのお願い】

の①のいずれかに該当する場合は職務に従事しません。

【出演者・スタッフの感染防止】

- ① 演奏者同士の間隔は、1.5m～2mの間隔を空け、管楽器エリアにアクリル板を設置（予定）し、物品の共用を避けています。
- ② 出演者及びスタッフは、毎日、検温を行うとともに、「こまめな手洗い・手指消毒」、「マスク着用・咳エチケット」に取り組んでおります。
- ③ 出演者は演奏に支障のない範囲でマスクを着用しております。